



総中流社会の崩壊

令和7年8月25日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

グローバリズムという黒船は、国際経済における競争というシビアな現実とともに、一億総中流社会の完全な崩壊を与えたものである。

これらは世界経済の競争原理が国内の既存社会の完全な転換を与えたものである。それが失われた30年における国内社会の転換である。

これらは物価の高騰など、世界経済へ組み込まれた国内経済は、世界における金融経済とともに、国内の閉鎖性から開国という現実への転換を自己に行うものである。

これらは生活の豊かさが、国内資本の海外への流出において、失われたものである。国内の低金利政策は、海外への資金の流出を与えるものであり、それらが今日の国内経済の現実における正しい考察なのである。

これら現実において留意されるべきは、グローバリズムという現実と既存国内システムの崩壊である。

これらはグローバルスタンダードにおける社会の転換が存在するものであり、世界経済におけるプレゼンスは、その技術と資本において、世界の統一とともに、その標準化を与えるものである。

また世界における巨大金融資本は、国家に勝る影響力を有し、これらグローバル経済の背後において大きな影響力を与えるものである。

唯一判断を求めるときは、これらが現実であり、経済政策や企業経営においてこれら現実を否定することは不可能なのである。

これら現実に即した判断が、唯一未来の実現を可能とできるものであり、これら現実においてその判断の正しさを得ることが、唯一未来の実現を可能とするものである。